

藤沢市交通マスタープラン・アクションプラン評価指標の達成状況  
～将来(2030年(令和12年))の交通像に対応した評価指標の達成状況～

評価指標	1	2	3	4	5	
	平成26年度	平成27年度	令和12年度	令和3年度		
	現況値 (交通MP策定時)	現況値 (交通AP策定時)	目標値 (交通MP目標値)	現状値 (現状値)	達成状況	
<b>めざす交通体系1</b> ○最寄り駅まで15分の交通体系 ○藤沢駅周辺(中心市街地)まで30分の交通体系	最寄り駅まで15分圏の人口割合(自転車考慮した場合)	72% (82%)	72% (82%)	75% (85%)	73% (82%)	△
	藤沢駅まで30分圏の人口割合	84%	84%	87%	84%	△
	地域特性に応じた公共交通サービス(乗合タクシー(ワゴン)やデマンド交通など)の導入エリア数	-	0エリア	6エリア	2エリア	△
	最寄り駅までの所要時間に関する満足度	-	45%	向上をめざす	42%	×
	公共交通の利便性に関する満足度	-	44%	向上をめざす	38%	×
<b>めざす交通体系2</b> ○インターチェンジまで30分(産業系市街地から15分)の交通体系	藤沢IC・寒川北IC・綾瀬IC・栄ICまで30分圏の人口割合	33%	33%	100%	100%	○
	藤沢IC・寒川北IC・綾瀬IC・栄ICまで15分圏の産業系市街地割合	2%	2%	80%	27%	△
	自動車走行環境に関する満足度	-	17%	向上をめざす	16%	×
	インターチェンジまでの所要時間に関する満足度	-	14%	向上をめざす	27%	○
<b>めざす交通体系3</b> ○環境にやさしい交通体系	鉄道・バス・自転車の利用割合	43%	43%	43%	57%	○
	自動車の利用割合	30%	30%	30%	26%	○
	自転車走行空間の整備延長	-	0.5km	5km	16km	○
	自転車走行環境に関する満足度	-	10%	向上をめざす	12%	○
<b>めざす交通体系4</b> ○ひとにやさしく・災害に強い交通体系	鉄道駅のバリアフリー施設の整備率(移動など円滑化の促進に関する基本方針に基づく)	90%	94%	100%	100%	○
	ノンステップバスの導入率	19%	20%	70%	62%	△
	緊急輸送道路(避難路)に架かる橋りょうの耐震補強整備率	55%	58%	100%	81%	△
	都市計画道路の整備率	74%	75%	84%	77%	△
	UD(ユニバーサルデザイン)タクシーの導入台数	0.2%	1%	10%	9%	△
	市内の歩行環境に関する満足度	-	25%	向上をめざす	18%	×
	避難経路の道路環境に関する満足度	-	44%	向上をめざす	57%	○

※「交通MP」は交通マスタープラン、「交通AP」は交通アクションプランの略称です。

※「満足度」に関しては、毎年実施している交通に関するアンケート調査結果に基づくものです。

【達成状況について】

「○」・・・「令和3年度現状値」が、「令和12年度目標値」に達しているもの

「△」・・・「令和3年度現状値」が、「令和12年度目標値」に達していないが、「平成27年度現況値」より上昇しているもの

「×」・・・「令和3年度現状値」が、「平成27年度現況値」より下回っているもの